

## 大船渡市復興計画骨子(案)に対する計画策定委員からの指摘事項への対応

## 第2回策定委員会における指摘事項など

項 目	指 摘 事 項	該当ページ 方針・施策	対 応
第1章 復興の基本的な考え方 1 目指すべき復興(復興計画とは)	被災者の生活再建が優先である。	1ページ	「被災者が生活を再建するとともに」を加筆した。  「3 市民参加による復興」においても、「被災者主体」を加筆した。
3 市民参加による復興	復興に対する情熱を持った人が、取り組みを先行することが大事。地域からの提言を推進し、実現できるようにすべき。	1ページ	市民の英知と行動力をエネルギーとして、市民参加による復興を推進する旨明記している。
	復興の担い手は市民だけではない。今回の災害における支援や交流を復興に生かせばよい。	1ページ	今回の災害において、市域を越えた支援と交流が大きな支えとなり、復興においてもそれらを糧とする旨明記した。
5 復興計画の計画期間	スピード感をもって復興を進められるよう方向付けすべき。	2ページ	10年の計画期間について、前期、中期及び後期と段階的に取り組むべき重要事項を明記して復興を推進する旨明記している。
	被害の甚大さなどからすると、前期を4年、それも1年と3年に分け、それから中期3年、後期4年として、最初の1年でここで暮らしてゆけるという確信持てるようなメッセージを発するべき。この1年を地域を再建し、絆を取り戻す期間として位置付けるとよい。	2ページ	前期のうち、計画期間初年度である平成23年度において、被災者の不安を解消し、市民が復旧・復興に向けた想いを共有できるよう、各種復旧事業を精力的に推進する旨明記した。
	計画期間の設定はこのままでよいが、住宅再建など初期の重点事項は、早急に方向性を示さなければならない。3年もかけてはられない。		

項 目	指 摘 事 項	該当ページ 方針・施策	対 応
5 復興計画の計画期間	スピード感に関係する言葉を探してみると、「今後も大船渡で暮らしてゆける自信・実感」に結びつきそうだ。これを考慮して計画期間を設定すべきである。	2ページ	( 同 上 )
	前期において重要なのは、本格的な安全基盤の再建まで凌がなければならないこと。「暫定的な安全対策に十分留意しつつ」ということを強調すべきである。	2ページ	前期の取り組み内容の冒頭に、「 <u>防災上の応急的な安全対策に十分留意しながら</u> 」を加筆した。
第2章 復興における課題、目標及び方針・施策  1 市民生活の復興	住宅再建においては、被災者の事情を配慮することを忘れずに。	4ページ - ア	左記施策に「被災者の事情に十分配慮しながら」を加筆した。
	住宅再建をゴールとせず、新しいコミュニティができた時に助け合える環境をつくるということが、施策に加えられるべきである。	4ページ - オ	「 <u>新たな居住環境において、人と地域のつながりが保てるよう配慮します。</u> 」との施策を加えた。
	介護保険サービスに関する記述が抜けている。これを立て直さなければ高齢者が大変であり、サービスが受けられるところに移るといような動きが出てくる。	4ページ - イ	左記方針・施策に「 <u>介護</u> 」を加筆した。
2 産業・経済の復興	地場産業の振興においては、さまざまな産業の連携とそれを生かした地域振興や雇用の創出、起業などまで結びつけることを課題として明示すべき。	5ページ	「課題」に、「 <u>各産業間の連携を図りながら、地域振興と雇用の確保につながる新たな動きを生み出すような取り組みが大切です。</u> 」を加筆した。
	今回の災害の教訓として、産業基盤施設の整備にあたって、建築物の堅牢化や電源のバックアップに留意すべきことを示すべき。	6ページ - イ	左記施策に「 <u>建築物の構造強化や電源対策の推進など</u> 」を加筆した。
	漁船や養殖施設の共有化に関しては、漁協でそれらを準備・整備して共同で使用する場合もある。	6ページ - ア	左記施策に「 <u>共用</u> 」を加筆した。

項 目	指 摘 事 項	該当ページ 方針・施策	対 応
2 産業・経済の復興	被災した農地の復旧と遊休農地の有効利用は、セットで考えたほうがよい。遊休農地で代替できる可能性もある。既存資源を棚卸しして再構築するイメージ。	6ページ - ア	施策 - アとウを一本化して、「遊休農地の有効利用を踏まえながら、被災した農地などを早期に復旧します。」とした。
	ジオパークは、今回話題になった吉浜地区との関連もあるほか、観光資源にもなる。	6ページ - エ	左記施策に「ジオパーク」認定を加筆した。
	森林資源を活用した新たなエネルギー政策を取り入れて、新たな雇用と産業振興の場を生み出すということを加えてほしい。	(9ページ) ( - ア)	(「4 防災まちづくり」において、再生可能エネルギーの活用などを検討する旨明記した。)
3 都市基盤の復興	海側から高台へ避難する道路を整備すべき。	7ページ - オ (8ページ・ - ア)	左記の方針・施策に包含
	広域幹線交通網のグレードアップについて追記すべき。	7ページ - オ	左記施策に「広域幹線交通網の強化や防災拠点として有用な「道の駅」の適正配置など」を加筆した。
	「道の駅」を防災拠点として活用するため、機能向上や適正配置に努めることが重要である。		
	高台の農業振興地域に住宅・宅地が整備できるような取り計らいを。 漁民のよりどころとなる施設整備のため、漁港近くの保安林指定を早急に解除できるようにしてほしい。	7ページ	(国において、土地利用・調整に係る手続きの一元化・簡素化に向け、特別な措置を講じる動き有り。 動向を注視)
	鉄道の整備については、まちづくりと一体であるという考えに立っているほか、災害に強いという面だけでなく、災害を受けないという観点もある。	7ページ - キ	左記施策に「あるいは災害を受けない」と、「広域的な観点に基づく公共交通システムの構築と併せて検討します」を加筆した。
鉄道の整備にあたっては、沿線自治体との連携など広域的な観点が不可欠であるほか、公共交通システムの構築ということも踏まえなければならない。			

項 目	指 摘 事 項	該当ページ 方針・施策	対 応
3 都市基盤の復興	盛土した道路の中には、今回の災害で壊れたところもある。市街地を分断することにもなる。「十分にその効果を検討したうえで」ということに注意すべきである。	7ページ - カ	左記施策について、「道路を盛土構造とすることなどにより、防災機能の向上に配慮するほか」を「道路を盛土構造とすることなどについて、防災上の効果を十分検討したうえで整備を図るほか」に修正した。
4 防災まちづくり	住居の高台移転や宅地のかさ上げなどの関連で、土砂災害などへの対応についても記述が必要である。	8ページ - イ	「新たな住宅地造成などに関連して、土砂災害などに対する防災体制を見直します。」との施策を加えた。
	学校教育、社会教育及び家庭教育の中で、津波の恐ろしさが伝承されるよう教育活動を充実させてほしい。	9ページ	左記の方針・施策に包含
	津波遺構を保存することが必要である。公共の遺構は保存しやすい。	9ページ - ア	左記施策に「津波に関する遺構」を加筆した。
	広域の交通インフラについては、選択と集中にて優先順位を付けて逐次整備するようなことを明快に言ったほうがよい。	9ページ - ア	左記施策に「重点施設などへの重点・優先投資を行いながら」を加筆した。
	孤立しても数日間は自立して応急生活を送ることができるように、エネルギーの自立・エコビレッジなどの考え方も必要である。		左記施策に「再生可能エネルギーの活用など、非常時の応急的な生活を支える方策について検討します」を加筆した。
	病院など広域的な公共施設の配置などについて、隣接の市町や県との相互協力と役割分担が必要。具体例をあげながら記述するのがよい。	9ページ - ア	左記施策に「医療・福祉をはじめさまざまな分野において」を加筆した。
	気仙2市1町の連携だけでなく、三陸沿岸地域や後方支援を踏まえた内陸部自治体との連携についても明示すべき。	9ページ - イ	左記施策に「三陸沿岸地域や岩手県内陸部の市町村など」を加筆した。

項 目	指 摘 事 項	該当ページ 方針・施策	対 応
第3章 復興の推進に向けて (復興の推進体制)	陸前高田市及び住田町とともに復興計画を策定して はどうか。	10ページ	<u>復興の推進にあたって、気仙2市1町や岩手県沿岸自治体の連携を強化する旨明記した。</u>
	広い観点でもって計画策定を。		
	市が市域の計画を策定するのであるが、隣接市町との意見交換を行ってほしい。		
	復興に向け、集落ごとのまちづくり協議会のような組織をつくり、自主的に取り組むことが大事である。	10ページ	<u>市民による復興に向けた自助、共助の取り組みを推進するため、地区・地域ごとの復興推進組織の設置を促す旨明記した。</u>
	小中学校区ぐらいの単位で、防災のまちづくりや防災教育なども含めた分権型の地区自治を行う、自立できる産業を生んで、起業することなどが大切である。		
	政府、国、県などに働きかけながら計画推進を。	10ページ	<u>国や県に対し、要望や提案など必要な働きかけを積極的に行う旨明記した。</u>
	国に対する優先度付きの提言、要望などが大変有効である。		
被災により、市の財政状況は厳しいはず。それを踏まえて復興にあたることを明記すべき。	10ページ	<u>厳しい財政状況を踏まえつつ、可能なかぎりの人材と財源を集中して復興に向けた体制を整える旨明記した。</u>	
策定委員会専門部会であげられたキーワードが見つげにくい。もう少しわかりやすいようなかたちで表記したほうがよい。			
その他	計画骨子全体のつながりがわかるように表記したほうがよい。		表記や体裁などを改善した。